

東京国立 博物館 ニュース

展示と催し物案内
第762号

2020

9・10・11

特別展 Information

「特別展 工藝2020 ——自然と美のかたち ——」

「特別展 桃山 ——天下人の100年」

「特別展 日本のたてもの
——自然素材を活かす伝統の技と知恵」

「親と子のギャラリー トーハク×びじゅチューン!
なりきり日本美術館リターンズ」…… 2～3

博物館でアジアの旅「アジアのレジェンド」…… 4

「特集 書と紙 ——平安時代の美しい料紙 ——」

「特集 令和元年度新収品」…… 5

総合文化展 Pick Up!

(本館/東洋館/平成館/法隆寺宝物館/黒田記念館) …… 6～7

トーハクの調査研究⑨ …… 7

本館展示案内(2階:日本美術の流れ、1階:ジャンル別展示) …… 8～11

本号のトピック …… 11 /みどりのライオン(教育普及事業) …… 12～13

イベント&インフォメーション …… 14～15

今号の名品

「国宝 紅白芙蓉図軸」

裏表紙に
掲載してるほ!

特別展 2020 工藝

自然と美のかたち

9月21日(月)祝～11月15日(日) | 表慶館

近年、国外でも高い評価を得ている日本の工芸。本展は、「工芸と自然」をテーマに、さまざまな自然素材と受け継がれてきた伝統のわざを用いて製作された現代の工芸作品82件を一堂にご紹介します。会場構成は、国際的に活躍する建築家・伊東豊雄氏が自然をコンセプトに手掛けました。デザイン性の高い展示空間で、工芸の魅力をお楽しみください。



象嵌彫銀花器
「チェックと市松」
中川衛作 令和2年(2020)
個人蔵
市松模様とタータンチェックをモチーフに、異なる金属の素材を多重に象嵌した作品です



流紋 — 2018
本間秀昭作 平成30年(2018)
個人蔵
自然素材である竹のしなやかな特性を生かして、波と波紋を表現した、躍動感ある作品です



雪嶺／花器
三輪休雪作 令和元年(2019)
個人蔵
「休雪白」と呼ばれる三輪家に伝わる萩焼の白釉薬をかけたダイナミックな作品です
撮影：斎城 卓

観覧料：一般1,500円、大学生1,000円、高校生600円 *事前予約(日時指定券)が必要です。展覧会公式サイト等でご確認ください。/展覧会公式サイト<https://tsumugu.yomiuri.co.jp/kogei2020/>

特別展 桃山 天下人の100年

10月6日(火)～11月29日(日) | 平成館 特別展示室

室町時代末から江戸時代初期までの激動の100年間。織田信長や豊臣秀吉、徳川家康をはじめとした戦国武将や、茶人、文化人など有名な品々を通して、この時代の美術が何を受け継いで誕生し、後世にどのような影響を与えたのかを、優品の数々によりご覧いただけます。この時代が、政治だけでなく美術においても中世と近世をつなぐ変革の時代であったことが一目瞭然となる展覧会です。

西洋との交流によって生まれた南蛮美術。天下人が権力を誇示する力強い造形から、平和な時代に適した規律ある瀟洒な美への展開。豪壮な水墨画と豪華絢爛な金碧画の競演。千利休と古田織部の茶の世界や、生死をかけて戦場に花開いた武将たちの出で立ち。華麗なる美の世界が展開します。
(田沢裕賀)



豊臣秀吉像画稿
伝狩野光信筆 安土桃山時代・16世紀
大阪・公益財団法人阪急文化財団
逸翁美術館蔵
秀吉を前にして何点か描かれたスケッチの中で、最も似ているとの書き込みがあります



朱漆金蛙巻大小
安土桃山時代・16世紀
豊臣秀吉が用いた刀装で、朱塗の鞘に金の薄板を螺旋状に巻いて華やかです



洛中洛外図屏風
(上杉家本)
狩野永徳筆
室町時代・永禄8年(1565)
山形・米沢市上杉博物館蔵
展示期間：10月6日(火)～11月1日(日)
足利義輝の依頼で狩野永徳が描き、織田信長が上杉謙信に贈ったとされています
(部分)

観覧料：一般2,400円、大学生1,400円、高校生1,000円 *事前予約(日時指定券)が必要です。展覧会公式サイト等でご確認ください。/展覧会公式サイト<https://tsumugu.yomiuri.co.jp/momoyama2020/>

特別展

「日本のたてもの — 自然素材を活かす伝統の技と知恵」

12月～2021年2月(予定) | 表慶館

本展は、多様な自然素材を優れた造形物へ昇華させてきた日本建築を飛鳥時代から通史的に俯瞰する展覧会です。建物の細部や素材の特性を精巧に再現した「1/10 建築模型」を通して、日本の伝統建築工法の技をご紹介します。高さ3メートルを超える法隆寺五重塔の模型にもご注目ください。



こくほう しょうそういんしゅうそう もけい
国宝 正倉院正倉 1/10 模型

平成16年(2004) 文化庁蔵
校倉造の代表格。国宝指定後に選定保存技術(建造物模型製作)保持者の和田安弘氏が製作しました



こくほう ほうりゅうじ ごじゅうのとう もけい
国宝 法隆寺五重塔 1/10 模型

昭和7年(1932)
現存最古の木造建築。半世紀に及んだ法隆寺昭和の大修理に先立ち昭和7年に製作しました



こくほう とうだいじしゅうろう もけい
国宝 東大寺鐘楼 1/10 模型

昭和41年(1966)
大仏様を基盤に、禅宗様の萌芽が認められる鎌倉時代の鐘楼。昭和40年の解体修理に伴い製作しました

親子のギャラリー トーハク × ぴじゅつ

なりきり日本美術館 リターンズ

10月27日(火)～12月6日(日) 本館 特別4室・特別5室

なりきり日本美術館では、世界の“びじゅつ”を、井上涼さんの歌とアニメで紹介する番組、NHK Eテレ「びじゅチューン！」で取り上げた作品について、複製や映像を使った「なりきり」体験が楽しめます。風神雷神図屏風や八橋蒔絵螺鈿硯箱など、新たな作品をテーマにとりあげ、2018年のなりきり日本美術館よりパワーアップしてこの秋、トーハクに戻ってきます。

本展を楽しむためのキーワードは、今回もちろん「なりきり」。トーハクのコレクションには、「びじゅチューン！」で歌とアニメになった作品が、いくつもあります。絵の中に描かれたキャラクターになりきったり、作品の世界におじゃまするお客さんになりきったり。なりきると“びじゅつ”がどんどん楽しくなります。「びじゅチューン！」を知っている人も、初めて知る人も、きっと“びじゅつ”のとりこになること、まちがいないし。どうぞお楽しみに。

(高木結美)



「びじゅチューン! 風神雷神図屏風デート」 ©井上涼・NHK2020



ある場所に立つと、風が吹き、雷鳴が轟きます。その時、屏風の裏ではどんなことが起こるのでしょうか

観覧料：総合文化展観覧料および開催中の特別展観覧券(観覧当日に限る)でご覧いただけます。障がい者もふくめ、事前予約(日時指定券)が必要です。
主催：東京国立博物館、文化財活用センター、NHK

アジアのレジェンド

9月8日(火)

10月11日(日)

東洋館

毎年恒例の「博物館でアジアの旅」。今年は「レジェンド」がテーマです。もとは「伝説」を意味したレジェンド。そこから「偉人」などの意味が派生し、近年ではスポーツ界などで殿堂入りを果たした人物もレジェンドと呼ばれるようになりました。この秋、東洋館ではそうしたレジェンドの意味の広がりやを踏まえつつ、各展示室でレジェンドにまつわるアジア各地の作品をご紹介します。パスポートをおともに、いざ、「レジェンドを探す旅」へ出かけませんか？



「博物館でアジアの旅 2020 パスポート」を見ながら展示を楽しんでね



※展示室の色は作品のカテゴリを示します。 = レジェンドを表したもの = レジェンドが集めたもの

※パスポートは、期間中、東洋館インフォメーションで無料配布しています(数に限りがございます)。また、当館ウェブサイトにも掲載しています。

3室

名君の偉業を今に くひがたも じめいひほしれんが 楔形文字銘日干煉瓦

イラク、テッロー出土
新シュメル時代・前2125～前2110年頃
イラク考古総局寄贈

グデア王の建築事業を伝える印影が残る煉瓦。同王はシュメル人の都市国家ラガシュを繁栄させ、歴史に名を刻んだ人物です

3室

ギリシャの英雄が アジアにも ヘーラクレース像

中国・ヨートカン 2～4世紀
大谷探検隊将来品

ギリシャ神話の英雄ヘーラクレースのイメージがシルクロードを経て、西域南道のホータンまで到達したことを示す貴重な作品です



(部分)

13室 神様の豪快な 勇姿にびっくり

ゴーヴァルダナ山を持ち上げるクリシュナ

ビーカーネール派 インド 18世紀後半

ヒンドゥー教の神クリシュナはゴーヴァルダナ山を持ち上げると、指1本で軽々と山を支え、牛飼いたちを雨から守りました

13室

勇ましく聡明な、 主人公の友

ワヤン・クリ クレスノ

インドネシア、中部ジャワ 21世紀
松本亮氏寄贈

インドネシアの影絵人形劇『マハーバーラタ』に登場するクレスノは主人公アルジュノを支える知将です

“レジェンド”な作品が他にもたくさんあるほ!



10室

名収集家の 御眼鏡にかなった一品

はくしつぽ 白磁壺

朝鮮 朝鮮時代・18世紀 横河民輔氏寄贈
東洋陶磁収集家のレジェンド、建築家横河民輔氏の寄贈品。儒教の清廉な精神を映すといわれる朝鮮白磁の優品です



5室

青銅器が表す、 謎多き古の物語

たく 鐸

推定中国西南部
前漢時代・前3～前1世紀
山西康太氏寄贈

家畜につけたベルと思われる。さまざまな図像には日常と非日常が混在。何らかの伝説を表現しているとみられます



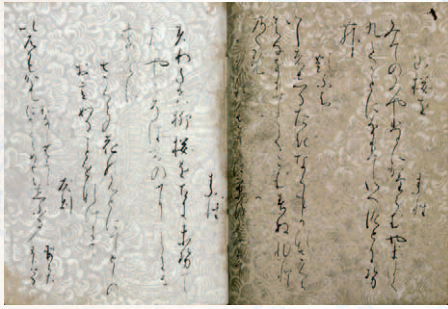
特集 書と紙

平安時代の美しい料紙

本館特別1室
9月24日(木)～
11月23日(月)

優美な王朝文化を体現したのは 日本製の紙

雲母摺りされた孔雀が左向きになっているのが、
日本製唐紙の特徴です



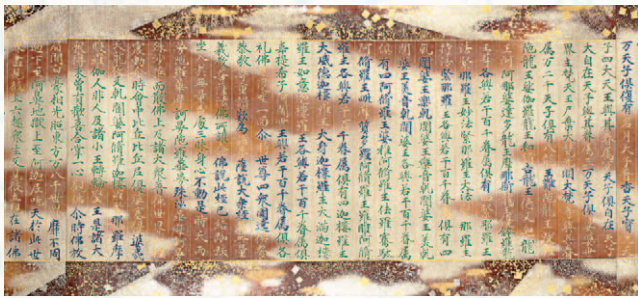
●古今和歌集(元永本) 上帖
平安時代・12世紀 三井高大氏寄贈

平安時代の書には、文様を版木で摺り出した唐紙(中国製・日本製)や、染紙、藍や紫の繊維を漉き込んだ雲紙など、煌びやかに装飾された料紙がよく見られます。装飾料紙に、能書(書の巧みな人)が詩歌を揮毫した調度手本が、平安貴族の最高級の贈答品としてつくられていました。そのひとつ、国宝「古今和歌集(元永本)」は、日本製の唐紙を約380枚も使用しています。元永3年(1120)の奥書があり、本年は900年の節目にあたります。本特集ではこの「元永本」を中心に、中国製の唐紙に書写された「古今和歌集切(卷子本)」など、さまざまな装飾技法による料紙を使った平安時代の書をご紹介します。料紙と書との競演をお楽しみください。

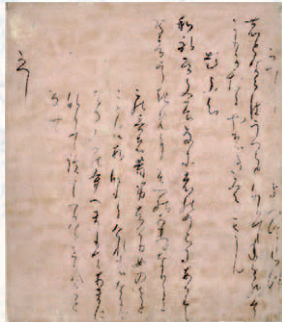
(恵美千鶴子)

装飾の極みを伝える貴重な模本

平安時代の写経で料紙装飾を極めたのが「平家納経」です



平家納経 序品 第一(模本)
田中親美模 大正～昭和時代・20世紀 原本: 国宝、広島・嚴島神社蔵
平安時代・長寛2年(1164) 奉納



料紙の魅力を引き立たせる 光沢

蠶のように文様が
にぶく光るため蠶
箋と呼ばれる中国
製の料紙です

古今和歌集切(卷子本)
藤原定美筆 平安時代・12世紀 森田竹華氏寄贈



佐野昭肖像

黒田清輝筆
明治32年(1899)

洋画家の黒田清輝による、この小さな肖像画は、彫刻家で黒田と親交のあった佐野昭(1865～1955)を描いたものです。画中の年記と黒田の日記から、仲間たちと静岡の静浦(沼津)で正月を過ごした時のものであることがわかります。旅先での即興による、のびのびとした筆致に、洋画界に新風を吹き込んだ黒田清輝の持ち味がうかがえます

(東京文化財研究所・塩谷純)



●浜松図屏風 伝土佐光重筆 室町時代・15世紀

6曲1双の大画面をフレームとして浜辺の景を描く屏風です。荒々しく雄渾な高い波、屈曲し視界を遮るかのような松並木から受ける力強くダイナミックなイメージ。一方、画面全体に掃かれた雲母、銀による、月夜のもとで淡く鈍い光を放つかのような静謐さ。動と静の絶妙な対比と調和を見せる室町時代やまと絵屏風の傑作です (土屋貴裕)



染付竹虎文大鉢

伊万里 江戸時代・17世紀
坂本一二氏寄贈

口径が45センチメートルを超える大鉢です。見込みには、虎と竹林を中心に岩山と雉が器面いっぱい描き込まれ、しっぽをくねらせ見上げる虎からは、のびやかな躍動感が感じられます。「初期伊万里」と呼ばれる17世紀初めに肥前有田で始まる磁器づくりの草創期の作で、この大鉢のような三足の脚をもつ作例は珍しく大変貴重な優品です (横山梓)

特集 令和元年度新収品

令和元年度に新たに当館の収蔵品に加わった作品のうち、主な作品を展示します。「文化財の収集」は、当館の最も重要な事業のひとつです。その成果と意義をぜひご覧ください。

平成館企画展示室
10月6日(火)～
11月15日(日)

Pick up!

本館

刃文が名前の由来となった名刀

国宝 太刀 三条宗近
(名物 三日月宗近)

11月29日(日)

13室 刀剣

宗近は、京三条に住んだと伝わることから三条小鍛冶ともいわれ、伯耆安綱や古備前友成らとともに日本刀成立期の名工として知られます。現存作は極めて少なく、本作品はその代表作です。刀身は砥ぎ減りにより細身になっていますが、なお優美な太刀姿を示し、「三日月」の号の由来である



●太刀 三条宗近(名物 三日月宗近)
平安時代・10~12世紀 渡邊誠一郎氏寄贈

三日月形の刃文が数多くみられます。本作品は『享保名物帳』所載の名物刀剣で、古来より名刀として名高く、天下五剣のひとつに数えられます。豊臣秀吉の正室、高台院が所持し、その遺物として徳川秀忠に贈られ、徳川将軍家に伝来しました。
(佐藤寛介)

本館

狐が見つめるものとは

白狐

10月6日(火)~11月29日(日)

18室 近代の美術

秋の木立にたたずむ白狐がじつと左を見つめています。左には芒など秋草の他に何も描かれていません。狐はいったい何を見ているのでしょうか。画家観山の師、岡倉天心がオペラ「白狐」の台本を執筆しています。そのお話は人形浄瑠璃などの題材となったもので、人と契りを結んだ白狐の「葛の葉」が愛する子に別れを告げる伝説がもとになっています。この伝説を知っている人は、白い画面に人里を思い浮かべることでしょう。狐や木々の形は、古く日本



白狐 下村観山筆 大正3年(1914)

絵画で必須であった輪郭線を使わず、色面で表しています。観山は、伝統的な物語世界を新しい日本絵画の表現で描いているのです。
(松嶋雅人)

東洋館

独特の草花文に注目

柿釉白花文大皿

11月1日(日)

5室 中国の陶磁



柿釉白花文大皿
中国・漳州窯 明時代・17世紀
横河民輔氏寄贈

柿釉を掛けた上に、染織で用いられる筒描きまたはイッチン(筒に入れた材料で図柄を描く方法)で白釉を絞出し、盛り上がるように表した白花の文様が独特な表情をみせています。その様子が正月飾りの餅花に似ていることから、この手の器を日本では「餅花手」とよびます。17世紀、日本や東南アジア、ヨーロッパへと運ばれた漳州のやきものは、とくに日本で「呉州手」と呼ばれ親しまれました。「餅花手」も「呉州手」の仲間です。横河民輔氏寄贈品には、本作品のほか、バラエティに富んだ「呉州手」の優品をみるることができます。
(三笠景子)

東洋館

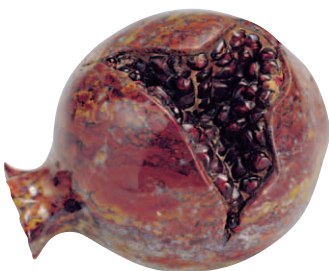
石の材質を生かしたつややかな美しさ

瑪瑙石榴

12月24日(木)

9室 清時代の工芸

瑪瑙の濁ったような赤い色調を活かして、石榴の実が表現されています。皮が裂けたところには、ルビーでできた赤紫の果粒がびっしりと詰め込まれています。石榴は西アジアから中国に伝わった果実で、ひとつの実にたくさんの種ができることから多産の象徴とされ、子孫繁栄といった吉祥の意味がこめられました。中国では、美しい石を玉といい、古くから玉を加工する工芸が発達しました。なかでも玉の本来の色調を生かした工芸を俏色(せうしき)といい、清時代になって流行しました。この石榴も、そのような俏色の作品です。
(猪熊兼樹)



瑪瑙石榴
中国 清時代・19世紀
神谷伝兵衛氏寄贈

総合文化展 **Pick up!**

平成館

小さな狩猟具に込められた、旧石器時代のエネルギー！

槍先形尖頭器

通年
考古展示室



槍先形尖頭器
旧石器時代(後期)・前18000年
埼玉県鶴ヶ島市高倉出土
田代伊三郎氏寄贈

狩猟採集による生活を営んでいた旧石器時代を代表する狩猟具のひとつが、槍先形尖頭器です。材料として用いられている黒曜石は、マグマが急速に冷え固まってできた火山岩。旧石器時代の人々が普段暮らしていたのは、狩りに適した平野部で、黒曜石を手に入れるには八ヶ岳などの黒曜石原産地まで歩いていくほかありません。本例は埼玉県鶴ヶ島市からの出土品で、少なくとも100キロメートルを超えた場所からもたらされたことになりました。見た目からは想像もつかない、旧石器時代のダイナミズムを感じてください。(飯田茂雄)

法隆寺宝物館

表情豊かな酔っ払い

重文 伎楽面 酔胡従

11月29日(日) 金・土のみ公開
第3室 伎楽面



◎伎楽面 酔胡従
飛鳥時代・7世紀

古代の仮面劇に用いられた伎楽面のひとつ。酔胡従とは、酒に酔った西方の従者を意味し、鼻の高い赤ら顔(色は剥がれています)はそれにふさわしい表現です。伎楽は中世以降に廃れたため、今日では演目の詳細はわかりませんが、酔胡王という王を囲み、8人1組ともいわれる複数の従者で酒盛りをする様子を演じたようです。この作品は目を細めてにっこり笑い、笑い上戸でしょうか。他にも眉を寄せて目を怒らした怒り上戸や、悲しそうな泣き上戸も。伎楽面は、保存上の観点から公開が金曜日と土曜日に限られますが、週末の展示室で開催される仮面たちの宴会をお楽しみください。(西木政統)

黒田記念館

花を好んで描いた黒田清輝の気品ある作品

瓶花

11月29日(日)
黒田記念室



瓶花
黒田清輝筆 明治45年(1912)
黒田清輝氏寄贈

画面右下にサインがあります。黒田作品の多くは、横文字でサインが書かれています。この作品の場合は漢字で書かれ、さらに「謹写」という文字が加えられています。これは、本作が皇室への献納品であるためでしょう。黒田は1910年に宮内省の一種の顕彰制度である帝室技芸員に洋画家ではじめて任命され、1913年に他の技芸員とともに本作を皇室へ奉呈しました。画面には、色とりどりの菊の花が描かれる一方、明度が抑えられ、上品な雰囲気表現されています。奉呈にふさわしい気品ある一点です。(東京文化財研究所・野城今日子)

トーハクの調査研究⑨

トーハク史上初の試み、新鑑賞体験「動く歩道」導入に向けて

博物館の重要な使命のひとつである「調査研究」。その一端をご紹介します。

50人以上の当館職員の前には置かれていたのは複製の国宝・鳥獣戯画。①の写真は特別展「国宝 鳥獣戯画のすべて」開催にあたり、長蛇の列が予想される鳥獣戯画をいかにご覧いただくかを実験した時の1コマです。この時は時間や人数を変え、展示室を総入れ替りにしたシミュレーションをしました。結果は不公平感がありこの案はボツ。その後議論を重ねた末、絵巻本来の「巻き広げながら見る」という鑑賞方法を再現すべく「動く歩道」を導入することにになりました(写真②)。展示会は来年春へ延期になりましたが、安全で快適な観覧環境をご提案すべく、少し長くなった準備期間でさらなる検討をしていきたいと思っております。(土屋貴裕)



①2018年9月 観覧実験の様子



②「動く歩道」イメージ

4 **-11/1日**
黒釉文琳茶入 銘 望月
 薩摩 江戸時代・17世紀 松永安左工門氏寄贈
 丸々としたかたち、つやのある黒い釉が印象的な茶入です



2 **11/3日(祝)-12/20日**
織部扇形蓋物
 美濃 江戸時代・17世紀



茶の美術

3-3 **9/29日(火)-11/8日**
◎祖師図(五祖送六祖渡江・徳山托鉢・香巖擊竹)
 狩野元信筆 旧大仙院方丈障壁画
 室町時代・16世紀
 狩野派の隆盛を決定づけた元信による、禅宗の祖師を描いた傑作です



3 **11/10日(火)-12/20日**
◎南山四皓竹林七賢図屏風
 伝狩野元信筆 室町時代・16世紀



禅と水墨画
 鎌倉〜室町



3-2 **9/29日(火)-11/8日**
◎宸翰消息
 後伏見天皇筆
 鎌倉時代・元享元年(1321)
 皇子の出家に際して、後伏見天皇が流麗な和様の書で記した消息です



3 **11/10日(火)-12/20日**
◎伝足利義政像
 伝土佐光信筆 室町時代・15世紀
 室町将軍足利義政を描くとされる肖像。襖や鏡台など、細部にも注目です



宮廷の美術
 平安〜室町

3-1 **9/29日(火)-11/8日**
◎仏涅槃図
 鎌倉時代・14世紀
 中国の藻魚図のような水墨表現の魚を背景に描いた異色の作品です



3 **11/10日(火)-12/20日**
◎愛染明王像
 南北朝時代・14世紀 松永安左工門氏寄贈
 宋代絵画の蓮華の表現を取り入れている点などに特徴のある作例です



仏教の美術
 平安〜室町

1-1 **-12/20日**
◎土埴 踊る人々
 古墳時代・6世紀
 埼玉県熊谷市野原古墳出土
 顔や服の表現をかなり省略した、独創的な造形の人物埴輪です



1 **11/3日(祝)-11/29日**
◎秋萩帖
 伝小野道風筆・伝藤原行成筆
 平安時代・11~12世紀
 巻頭の書出しから「秋萩帖」と呼ばれ、筆跡と色紙の美しさから日本の書の逸品です



1-2 **-12/20日**
◎金銅鉢 奈良時代・8世紀
 仏に捧げる供物を入れる器。鉢支と呼ばれる専用の輪台が付属します



2 **11/3日(祝)-11/29日**
◎秋萩帖
 伝小野道風筆・伝藤原行成筆
 平安時代・11~12世紀
 巻頭の書出しから「秋萩帖」と呼ばれ、筆跡と色紙の美しさから日本の書の逸品です



日本美術のあけぼの
 縄文・弥生・古墳

深鉢形土器
 縄文時代(中期)・前3000~前2000年
 東京都あきる野市雨間塚場出土 塩野半十郎氏寄贈



1-2 **-12/20日**
◎金銅鉢 奈良時代・8世紀
 仏に捧げる供物を入れる器。鉢支と呼ばれる専用の輪台が付属します



◎銅獅子鎖柄香炉
 奈良時代・8世紀



仏教の興隆
 飛鳥・奈良

2 **-10/4日**
◎扇面法華經冊子 平安時代・12世紀
 経文の下絵に描かれた愛らしい貴族や庶民の日常の姿が魅力のやまと絵の名品です



国宝室

※展示環境改善等のため、本館2階は12月21日(月)~2021年1月1日(金・祝)の期間閉室します。

-11/1日
枯木花鳥図屏風
 山ト良次筆 江戸時代・17世紀
 京都で活動した山ト良次の代表作。
 膨む幹の形に個性がみられます



(部分)

11/3日(祝)-12/13日
◎山水図屏風
 雲谷等顔筆 安土桃山～江戸時代・16～17世紀
 雪舟の画風を引き継いだ等顔。彼独自の温和で静謐な情景もみどころです



(左隻)

7
屏風と襖絵
 安土桃山・江戸

10/6日(火)-12/20日
くろかわかたつまつりおしののどまる
◎黒韋肩妻取威胴丸
 室町時代・15世紀



10/13日(火)-12/20日
わきざし そろしゅうさだむね ごう いしださだむね
◎脇指 相州貞宗(号 石田貞宗)
 南北朝時代・14世紀
 戦国武将の石田三成が所持したと伝わる、相州貞宗の傑作です



5-6
武士の装い
 平安～江戸

10/20日(火)-12/20日
火事装束 緋羅紗地注連縄模様
 江戸時代・19世紀 アンリー夫人寄贈

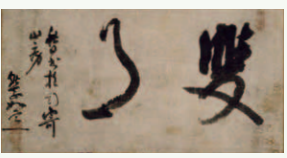


梅樹据文三味線
 石村直作 江戸時代・寛政10年(1798)
 金銀象牙の梅花で飾り、紫檀など稀少な銘木を用いた高級三味線です




8-1
喜らしの調度
 安土桃山・江戸

-11/1日
二大字「雙月」
にだいじ そうげつ
 黙子如定筆 江戸時代・17世紀
 黙子は長崎に渡来し、最先端の中国臨済禅とその文化を日本に伝えた禅僧の一人です



11/3日(祝)-12/13日
◎夏秋草図屏風
なつあきくさずひょうぶ
 酒井抱一筆 江戸時代・19世紀
 尾形光琳への深い追慕と、抱一がもつ江戸の瀟洒な美意識が溶け合った代表作です



(右隻)

8-2
書画の展開
 安土桃山・江戸




-10/18日
舞楽装束 還城楽(襦袢)
ぶがくしょうぞく げんじょうらく
 江戸時代・19世紀
 インドの神話において悪蛇を退治する抜頭王の衣装です




10/20日(火)-12/20日
唐織 紅茶浅葱段青海波 柴束籬秋草模様
からおり べにちやあさぎ だんせいがい
 上杉家伝来 江戸時代・18世紀
 刺繍のような風合いが特色の紅入の唐織は、若い女性役に用いられます



浮世絵
-10/11日
月下砧打美人図
げっかきつうらびじんず
 葛飾応為筆 江戸時代・19世紀
 葛飾北斎の娘、応為の作品。袖や衿に見える下着の縮れた線は北斎に学んだ技法です



10/13日(火)-11/8日
めいしよえ どりゃっけい あさくまたんぼ とり まちろう
名所江戸百景・浅草田南 酉の町詣



衣装
-10/18日
小袖 白綸子地熨斗菊模様
こそで しりんずじのしきくもよう
 江戸時代・17～18世紀
 おめでたい束ね熨斗模様に菊を取り合わせた晴れ着です



10/20日(火)-12/20日
小袖 浅葱縮地 花紅葉籠模様
こそで あさぎぢりめんじ
 江戸時代・18世紀
 貞享年間(1684～1688)以降に流行した友禅染で染めた春と秋の模様です



9
能と歌舞伎

10
浮世絵と衣装
 江戸

15

歴史の記録



-10/11⑩

◎日本沿海輿地図(中国) 東北

伊能忠敬作 江戸時代・19世紀
21万6千分の1の縮尺で、東北の大部分、福島以北、佐渡以北までを詳細に描きます



10/13⑧-12/6⑩

◎日本沿海輿地図(中国) 関東

伊能忠敬作 江戸時代・19世紀
21万6千分の1の縮尺で、関東一円、福島南部、新潟西部、富士山、伊豆半島、伊豆七島までを描きます

14

特集

-10/4⑩

「大野出目家と越前出目家の能面」

◎能面 怪士

「天下一備後」焼印 金春家伝来 江戸時代・17世紀



10/6⑧-11/29⑩

「破格から調和へー17世紀の茶陶」

色絵紅葉賀図茶碗 仁清、「仁清」印

江戸時代・17世紀 山本富子氏・山本賢二氏寄贈
源氏物語の一幕を、人物なしのモチーフのみであらわした雅な茶碗です

13-3

陶磁

-12/25⑨

◎黄釉牡丹唐草文広口壺

瀬戸 鎌倉時代・14世紀



錆絵草花文大鉢

唐津 江戸時代・17世紀

鉄絵具による飄々とした描線が目を引き、唐津焼大鉢の優品です

13-2

刀剣

-11/29⑩

◎太刀 三条宗近(名物 三日月宗近)

平安時代・10~12世紀 渡邊誠一郎氏寄贈

天下五剣のひとつとして知られる名刀で、三日月形の刃文が見どころです(→6ページ)



◎太刀 福岡一文字吉房(号 岡田切) 鎌倉時代・13世紀

備前刀福岡一文字派の名工吉房の傑作。華麗な刃文と、織田信雄がこの太刀で家臣の岡田重孝を斬ったという驚きの伝来に注目です

11

彫刻

-12/13⑩

◎大日如来坐像

平安時代・11~12世紀



-12/25⑨

◎不動明王立像

平安時代・11世紀

恐ろしい姿の不動明王ですが、穏やかな顔つきは平安時代後期の特色です



12

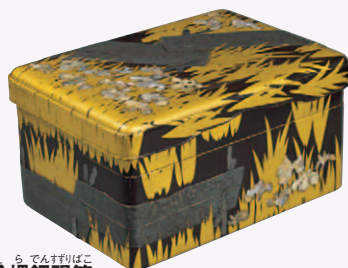
漆工

-11/29⑩

◎花卉漆絵片口

安土桃山時代・16世紀

金の切箔が漆絵に華やかさを添えます。漆絵の魅力に満ちた酒器です



◎八橋蒔絵螺鈿硯箱

尾形光琳作 江戸時代・18世紀

13-1

金工

-12/13⑩

◎鶺鴒香炉

津村亀女作 江戸時代・18~19世紀



◎自在龍置物

明珍宗察作 江戸時代・正徳3年(1713)

手足や体が可動する鉄製の龍。作者と時代も判明する自在置物の代表格です



案内 1階 展示



今回は本館!

本号のトピック

本館2階

便殿が通年公開となりました

本館の2階にある便殿は今まで、第1・第3土曜日や祝日、お正月などの限られた日のみ公開をしていましたが、通年で公開を始めました。この部屋は昭和13年に東京帝室博物館の本館として開館したときに貴賓室として造られ、天皇陛下はじめ皇族方のご休憩所として使われた場所です。帝室博物館から国立博物館となった今日では、皇族方だけではなく、国賓や公賓など国の大事なお客様の休憩室として利用されることもあります。気品に満ちた室内や貴重な調度品をぜひご覧ください。



※ 室内には入れません

本館1階

本館13室がリニューアルオープンしました

2019年11月より展示室改修工事を行っていた本館13室が、リニューアルしました。新しく導入したイタリア製の展示ケースは、低反射ガラスを採用し、映り込みが少なく作品鑑賞できるようになりました。

また、天井の照明と照明を取り付けるライティングレールを増設し、高演色LED照明を使用しているため、作品をより美しく見せることができます。

展示解説のパネルも新しくなりました。可読性の高いユニバーサルデザインフォントを使用し図版を増やすことで、解説文は読みやすく、さらに作品への理解も深められるよう工夫をしています。

快適な環境での作品鑑賞を、どうぞお楽しみください。



リニューアルした本館13室の様子

展示ケースはイタリアのGoppion社製を使用。当館で使用するのは初めての事です

本館各展示室

本館のソファをリニューアルしました

本館展示室のソファをリニューアルしました。シェルチェア、セブンチェア、PKソファ、スワンチェア、その他さまざまなブランドの名作から新作まで、各展示室、スペースの意匠に合わせて異なるソファを選定しています。疲れた時にひと息ついたり、座りながらゆっくり作品を眺めてみたりしてはいかがでしょうか。



-12/25金

送られる子熊用の耳飾

樺太アイヌ 19世紀 徳川頼貞氏寄贈
イオマンテの祭で子熊が人間に大切にされた証となる飾りです



たま玉ハビル(首飾)
奄美大島 第二尚氏時代・19世紀



16

アイヌと琉球



18

近代の美術

-11/29日

老猿

高村光雲作 明治26年(1893)
シカゴ・コロンブス世界博覧会事務局



10/6火-11/29日

白狐

下村観山筆 大正3年(1914)
じっと見つめる白狐の目には何がうつつて
いるのでしょうか (→6ページ)

(部分)

みどりのライオン



※掲載されている催し物につきましては、今後、予告なく中止する場合がございます。当館ウェブサイト等でご確認ください。

お知らせ

講演会等は動画配信のみとなります

新型コロナウイルス感染予防および拡散防止のため、当面のあいだ月例講演会、ギャラリートークについては、YouTubeによる動画配信のみとなる予定です。館内を会場とした対面での実施は当面見合わせますが、ご自宅等でもお楽しみいただけるような動画を作成します。また下記事業につきましては、今年度館内での開催は中止となります。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

- ・スクールプログラム(内容紹介の動画を作成します)
- ・東京藝術大学大学院インターンによるギャラリートーク
- ・職場体験
- ・博物館学講座、博物館セミナー
- ・ワークショップ(対面。オンラインは13ページ参照)
- ・ボランティアによるガイドツアー・ワークショップ
- ・特別展の教員研修
- ・ボランティアデー
- ・インターン募集(東京藝術大学大学院インターン含む)
- ・来年度のボランティア募集

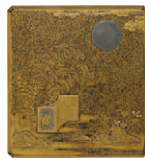
※上記は9月14日現在の情報です。今後情報が変更となる可能性もあります。詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。

オンライン

月例講演会

「漆のわざを読む」

講師：福島修(工芸室研究員)
強い接着力を持ち、堅固な被膜をつくる漆は、その性質を利用した多彩な装飾技法をもっています。当館所蔵品を例に、技法から時代を読み解くヒントを探ります。



◎ 砧蒔絵硯箱
室町時代・16世紀

オンライン

ギャラリートーク

「狩猟具の変遷」

講師：飯田茂雄(考古室研究員)
狩猟採集生活を営んでいた旧石器時代から縄文時代。狩りの場面で活躍したのが石でつくられた狩猟具でした。その移り変わりをご紹介します。



オンライン

博物館でアジアの旅関連イベント(配信予定)

「レジェンドを語る」

※関連展示:本紙4ページ

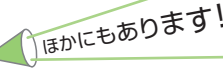
講師：勝木言一郎(東洋室長)
猪熊兼樹(特別展室長)
小野塚拓造(平常展調整室研究員)

エジプト神話の女神セクメト、ギリシャ神話の英雄ヘーラクレース、ヒンドゥー教の神クリシュナなど、古今東西のレジェンドについて解説します。



(部分)

ゴーヴァルダナ山を持ち上げるクリシュナ
ピーカーネル派 インド 18世紀後半



充実の動画ラインナップ!

左記のコンテンツのほかに、さまざまな動画をYouTubeにて公開しています。ぜひあわせてご覧ください。



副館長・井上洋一が語る、土偶からひもとく、時代を生き抜くヒント

副館長・井上洋一が、土偶を通してこの時代を生き抜くヒントを探ります。平均寿命が現代よりも短かった縄文時代、かけがえのない命をどのようにして守ろうとしたのでしょうか。その「癒しの造形」もさることながら、はるか時を超え、土偶は私たちに大切なことを語りかけているように感じます。博物館に勤務する者としての想いを込めたメッセージとともにお伝えします。



可愛らしい土偶の見どころと、熱い想いを込めたメッセージを、どうぞご覧ください。

川岸研究員が語る、特集「日本の仮面 舞楽面・行道面」

特集「日本の仮面 舞楽面・行道面」(展示は終了しました)の見どころを川岸研究員が解説します。舞楽面は中国、朝鮮、ベトナム等から伝来した音楽や舞をもとに、宮廷でまとめられた舞楽で使われました。龍や霊鳥をかたどったり、人物の個性を誇張して表したりした造形が魅力です。目や顎、鼻が動く独特の工夫が凝らされている面もあり、展示ではお見せできないその様子を映像でご紹介しています。



表情が個性的な日本の仮面。その多彩な造形をお楽しみください。

※重要文化財 舞楽面二ノ舞(熱田神宮所蔵)を紹介した特別編も公開しています。

装飾古墳入門

装飾古墳とは、埋葬施設内部の壁や石棺に、彩色や彫刻等により幾何学的な文様や絵画などの装飾を施したものです。

「装飾古墳入門」と題して、装飾古墳にまつわるさまざまな謎について、4回にわたって河野研究員が動画でご紹介します。

第1回のテーマは「装飾古墳が誕生したのは筑紫君磐井の乱に負けたからなのか?」です。

6世紀前半に九州で起こった筑紫君磐井の乱と、装飾古墳誕生との関係性について解説します。



講義と作品鑑賞を交えながら、装飾古墳の魅力をたっぷりお伝えします。



オンライン上で総合文化展の解説や講演会、ギャラリートークなどがお楽しみいただけるようになりました!

ワークショップ

親子のギャラリー「トーハク×びじゅチューン！
なりきり日本美術館リターンズ」関連プログラム
※関連展示：本誌3ページ



オンラインワークショップ

「なりきり光琳」

国宝「八橋蒔絵螺鈿硯箱」をつくり出したアーティスト、尾形光琳。今回のプログラムでは、ミニ団扇、ミニ屏風、ミニ硯箱の中からひとつ選んでもようを配置し、光琳のデザイン感覚のひみつを探ります。事前に送付される専用のキットを使って、ご自宅などからオンラインでご参加いただくワークショップです。

● 八橋蒔絵螺鈿硯箱
尾形光琳作 江戸時代・18世紀
展示期間：
9月8日(火)～11月29日(日)
本館12室



八橋蒔絵螺鈿硯箱に用いられている、カキツバタや橋などの色々なモチーフについて解説を聞き、それらのシールを、紙でできたミニ硯箱などに貼って、自分なりにデザインするワークショップです！



日 時：11月14日(土)
① 10:00～12:00 ② 14:00～16:00
11月15日(日)
③ 10:00～12:00 ④ 14:00～16:00

使用ツール：Zoom

※当日のアクセス先は当選された方にメールでお送りします。
※安定的な通信環境でのご参加をおすすめします。
※カメラとマイク付きのPCやiPadなどのタブレットを使用してください。スマートフォンは不可。

対 象：①③小学1年生～小学3年生と保護者のペア
②④小学4年生～小学6年生と保護者のペア

定 員：各回10組20名(応募者多数の場合は抽選)

参 加 費：無料

申 込 方 法：当館ウェブサイトのフォームからお申込みください。

申 込 締 切：10月15日(木)

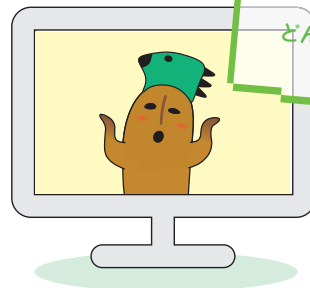
お 問 合 せ：TEL03-3822-1111(代) 教育普及室

※1組でひとつ、作品をつくります。

※当選された参加者の方には、紙でつくられたミニ団扇、ミニ屏風、ミニ硯箱からデザインしたいものを事前にひとつお選びいただきます。

※申込締切日から2週間以内に、材料のキットを事前送付いたします。ご家庭で事前に行う準備作業があります。

紙でつくられた
ミニ団扇、ミニ屏風、ミニ硯箱の中から
好きなキットをひとつ選んだね！
ボクが光琳だったら、
どんな風にデザインするかなあ？
ワクワクするほ！



*事前申込プログラムにお申込みいただいた方には、当落に関わらずご連絡します。

受講可否についてご不明な点がございましたら、お電話でお問合せください。TEL：03-3822-1111(代)

*各種催し物にご応募の際にご提供いただいた個人情報、当該の目的にのみ使用させていただきます。終了後はすみやかに破棄します。

*インターネットからのお申込みができない方は、お電話でお問合せください。

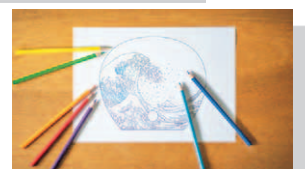
トーハクウェブサイト、

教育オンラインコンテンツの まとめページを新設します！

博物館教育課では、さまざまな教育事業を行っています。オンラインでご覧いただけるコンテンツもあり、今後さらにコンテンツ数を増やしていく予定です。

そこで、簡単にアクセスできるように教育オンラインコンテンツをまとめて通覧できる専用ページ「みどりのライオン オンライン」を新設します(9月末予定)。

学校の先生方や保護者の方、教育事業にご興味のある方にも、より見やすく使いやすいページをつくりたいので、ご期待ください。



トーハクポスターを制作しました！

新しいポスターは全6種類。本館と平成館の連絡通路など館内各所と館外に掲示しています。デザインのモデルとなった作品は、伊藤若冲自画自刻の「玄圃瑤華（げんぼようか）」です。「玄圃」は仙人の居どころ、「瑤華」は玉のように美しい花という意味です。こちらは若冲53歳の時の作品で、自ら版木を彫ってつくった拓版画です。全部で48図あり、白と黒だけでさまざまな草花、野菜、昆虫などが描かれています。

玄圃瑤華 伊藤若冲自画自刻 江戸時代・明和5年(1768)
ColBaseで作品情報をご覧ください。

https://colbase.nich.go.jp/collection_items/tnm/A-12445?locale=ja

※「玄圃瑤華」は通年での展示は行っていません。



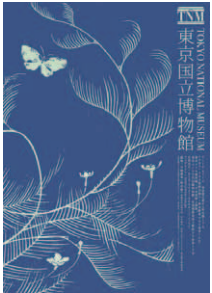
玄圃瑤華(宋草)



玄圃瑤華(瓢箪)



玄圃瑤華(薊)



玄圃瑤華(梅花藻)



玄圃瑤華(冬葵)



玄圃瑤華(風仙花)

TNM & TOPPAN ミュージアムシアター

VR作品 『国宝 松林図屏風 — 乱世を生きる絵師・等伯 —』
10月7日(水)～2021年1月17日(日)

東京国立博物館所蔵の数ある国宝の中でも、安土桃山時代を代表する巨匠 長谷川等伯が描いた「松林図屏風」は極めて人気の高い作品です。また、一方で実は謎の多い作品でもあります。本VR作品では、当時の時代背景から松林図の成り立ちを推理し、作者である等伯の画業の歩みを辿ります。



長谷川一門をとともに支えた息子・久蔵の存在や、時の天下人であった豊田秀吉の命を受け親子で制作した障壁画「楓図」「桜図」(国宝/智積院蔵)など、松林図へとつながるエピソードを解説し、作品の持つ魅力に迫ります。

料金：一般・大学生・高校生600円、小学生・中学生300円、未就学児、障がい者とその介護者各1名は無料(1作品/1回あたり)、別途入館料が必要です。開演時間までにチケットをお買い求めください(当日券のみ)。

※所要時間 約35分です。

※演出・スケジュール・定員は、都合により変更となる場合がございます。

※詳細はウェブサイト(<http://www.toppa-vr.jp/mt/>)をご覧ください。

休館・閉室情報

12月22日(火)は電気設備等保守点検のため、臨時休館します。
また、展示環境改善等のため、展示室の一部を以下の通り閉室します。
法隆寺宝物館：11月30日(月)～2021年1月1日(金・祝)
本館2階：12月21日(月)～2021年1月1日(金・祝)
東洋館：12月25日(金)～2021年1月1日(金・祝)

庭園大規模工事について

本館北側の庭園の一部と茶室を公開しています(茶室内には入れません)。ただし、10月中旬～2021年3月末まで、庭園の大規模工事を行う予定のため、公開場所について大幅な制限が生じます。工事期間中は庭園西側のみを公開する予定ですが、工事の計画によっては庭園西側も公開できない場合や公開を中止する場合があります。ご来館いただいた際は庭園入口等の掲示にてご確認ください。

※庭園は入館料のみでご覧いただけます。

※工事期間については今後変更する場合があります。

※工事期間中、庭園入口は平成館と本館の間のみとなります。

※工事期間中、ご観覧可能なお茶室は九条館、応挙館のみとなります。ただし、お茶室貸出利用時、工事の計画によってはお茶室をご覧いただけない場合があります。

※悪天候により公開を中止する場合があります。

創エネ・あかりパーク®2020開催

光のイベント「創エネ・あかりパーク®2020」が、今年も上野公園を会場に開催されます。当館でも、本館への特別エフェクトライトアップを10月30日(金)～11月3日(火・祝)に実施します。展示とあわせてお楽しみください。



過去のライトアップの様子

※11月2日(月)は夕方より正門を無料開放予定。ただし、休館日のため展示はご覧になれません。

※イベントの詳細については<http://www.akaripark.com>をご覧ください。

※イベントの開催は変更となる可能性があります。

入館案内の動画を公開

お客様に安全に、安心してご観覧いただくため、感染予防のためのお願いや当館の取り組みを紹介する動画を制作しました。また、1089ブログでは、トーハクくんとユリノキちゃんが入館方法や注意事項についてご案内しています。ご来館前にぜひご覧ください。



お客様へのお願い
Updated Rules for Reopening



入館ご案内動画



1089ブログ

総合文化展チケットプレゼント

総合文化展無料観覧券(10組20名様)をプレゼントします。締切は12月10日(木)必着。

※無料観覧券をお持ちの方も事前予約(日時指定券)が必要です。

*プレゼントの応募方法

はがきに郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、ならびにこの号で一番おもしろかった記事をご記入の上、下記までお送りください。発表は発送をもって代えさせていただきます。

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 広報室「ニュース9・10・11月号」プレゼント係

9・10・11月の休館、夜間開館情報

	9月	10月	11月
休館日	7日、14日、23日、28日	5日、12日、19日、26日	2日、9日、16日、24日、30日
21:00まで夜間開館 (金・土曜日)	4日、5日、11日、12日、18日、19日、 25日、26日	2日、3日、9日、10日、16日、17日、 23日、24日、30日、31日	6日、7日、13日、14日、20日、21日、 27日、28日

※特別展「桃山―天下人の100年」は、火～木、日曜日は18:00まで開館します。詳細は東京国立博物館ウェブサイトをご覧ください。

◆東京国立博物館利用案内

総合文化展観覧料金 一般1,000円、大学生500円

- 入館はオンラインでの事前予約制(日時指定券)となります
 - 20名以上の団体料金は廃止となりました
 - 障がい者とその介護者1名は無料。満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方は無料
 - 文化の日(11月3日〈火・祝〉)は、総合文化展のみ観覧無料
- 詳細は東京国立博物館ウェブサイトをご覧ください。

最新情報は、ウェブサイト、Facebook、Twitter、Instagram、メールマガジンで!

東京国立博物館ウェブサイト
<https://www.tnm.jp/>



◆東京国立博物館賛助会員募集のご案内

博物館事業の充実のための支援制度です。

【主な特典】特別展内覧会へのご招待 など

【年会費】〈団体〉プレミアム会員 1,000万円以上、特別会員 100万円(1口)・維持会員 20万円、〈個人〉プレミアム会員 100万円以上、特別会員 20万円・維持会員 5万円

【申込方法】当館窓口、当館ウェブサイト(クレジットカード決済)、銀行振込

◆東京国立博物館会員制度

東京国立博物館では、皆様のニーズに合わせて各種会員制度をご用意しております。

友の会

発行日から1年間有効 年会費:8,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を6枚と、本誌の定期購読、ショップ、レストラン割引等さまざまな特典があります。

メンバーズプレミアムパス

発行日から1年間有効 年会費:一般5,000円、学生3,500円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。東京国立博物館の特別展観覧券を4枚提供します。

国立博物館メンバーズパス(4館共通)

発行日から1年間有効 年会費:一般2,000円、学生1,000円

【特典】東京・京都・奈良・九州の国立博物館の総合文化展・平常展を何度でも観覧可能。

ニュース会員

東京国立博物館ニュースの定期購読 年会費:1,000円(1年分)

【特典】東京国立博物館ニュースを1年分ご自宅に送付いたします。メンバーズプレミアムパスとの同時申込みで100円割引。(2020年6月より年4回発行となりました。)

*次号よりご送付希望の場合、締切は2020年11月10日(火)です。

○申込方法

1. 会員専用窓口

当館正門前の会員専用窓口で即日発行いたします(現金またはクレジットカード)。

2. ウェブサイト

専用申込フォームからお申込みください(クレジットカードまたは郵便振替(振替用紙を送付))。

3. 郵便振替

●振替用紙に①種別(友の会、プレミアムパス、4館共通、ニュース)、②区分(一般、学生)③氏名(ふりがな)、④郵便番号、⑤住所、⑥電話番号、⑦年齢、⑧性別、⑨メールアドレス(メールマガジン希望者のみ)を通信欄にご記入の上、下記口座までお振替ください。

加入者名:東京国立博物館会員制度
口座番号:00140-3-791791

●振替用紙の半券が領収書になります。有効期限終了まで保管してください。

●振替手数料はお客様負担となります。

●ご入金確認日より会員証等がお手元に届くまで、2週間程度かかります。

*現在、ウェブサイトと郵便振替による受付を休止しています。再開が決まりましたら当館ウェブサイトにてお知らせします。

*一度納められた料金の払い戻しはいたしません。

*お申込みの際にご提供いただいた個人情報は、当該目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします。

*新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館を実施したことに伴い、各種会員制度の有効期限を延長します。詳しくは当館ウェブサイトをご覧ください。

◎お問合せ:

電話 03-3822-1111(代) FAX 03-3821-9680

総務課会員制度担当

*月～金曜日の9:30～17:00(土日・祝日は除く)

表紙の名品

2020年9・10・11月号

国宝 紅白芙蓉図軸

9月24日(木)～10月18日(日)
東洋館8室

時間の流れを優雅に彩る、紅白の芙蓉



●紅白芙蓉図軸 李迪筆 中国 南宋時代・慶元3年(1197)

芙蓉は、華やかに栄えるというめでたい意味をもつ花として古くから愛されてきました。「紅白芙蓉図」は、淡い藍を刷いた絹地に紅と白の芙蓉をそれぞれ表した2図から成る作品です。ただ、「紅芙蓉図」の花びらの色味は均一でなく、白い花びらが部分的に紅く染まっているように見え、紅白の別々の芙蓉ではなく、一日の間に白から紅へと色を変える酔芙蓉の朝と昼過ぎの姿を描いたと考えられています。また、それぞれには、つぼみ、開きかけ、満開の花が配されており、一面の中に花の一生がおさめられています。この作品が「時の表現」を大切にしていることがわかります。

2図には、慶元3年(1197)の李迪の款記があります。李迪は、中国、南宋時代に活躍した高名な宮廷画家で、特に花鳥画を得意としました。もともと2幅1対の掛軸としてつくられた場合、款記はそれぞれ画面の外側に書かれることが多いのですが、「紅白芙蓉図」ではともに左上にあります。これはおそらく、この2図が当初は画冊の2頁としてつくられ、日本にわたってから茶席にあわせて軸に改装されたためでしょう。

鑑賞時における掛軸と画冊の大きな違いは、みる人と作品との間の距離にあります。画冊は手元におき、ひとりで見中してみるのに適した表装です。「紅白芙蓉図」には、このような眼差しに配慮する表現が随所にみられます。例えば、花びらと葉の輪郭線では、花びらに太さの均一な滑らかな線、葉には太さに差のあるガサガサした線が使われています。ごくわずかに墨線の質を変えて、柔らかい花びら、やや硬い葉という質感の描き分けを図っているのです。また、花びらの色味が違うのは遠目でもわかりますが、近くでよくみると、「紅芙蓉図」では、茎や葉の輪郭の墨線に紅い色線が重ねられて、全体がほのかに紅く色づいていることが確認できます。

特集「中国書画精華——古典の魅力——」では、宋・元時代を中心に書画の名品を一堂に展示します。「紅白芙蓉図」は上方からのぞきこむタイプのケースに並べますので、至近距離からじっくりとこの作品の魅力を楽しんでいただければ幸いです。

(植松瑞希)